

令和7年度病害虫発生予察指導情報

ナシ黒斑病：Alternaria属菌の孢子飛散情報（No. 3）

令和7年4月8日
鳥取県病害虫防除所

表1 日別孢子採集状況（調査地点：鳥取県園芸試験場）単位：個

月・日	分生子 (個)	‘二十世紀’の生育(作業) ステージ	月・日	分生子 (個)	‘二十世紀’の生育(作業) ステージ
3/21	1	発芽期	4/26		
3/22	1		4/27		
3/23			4/28		
3/24	0		4/29		
3/25	0		4/30		
3/26	0		5/1		
3/27	0		5/2		
3/28	0	花蕾露出期	5/3		
3/29	0		5/4		
3/30			5/5		
3/31	0	鱗片脱落期	5/6		
4/1	1		5/7		
4/2	0		5/8		
4/3	0		5/9		
4/4	0		5/10		
4/5	0		5/11		
4/6			5/12		
4/7		展葉期～バルーン期	5/13		
4/8			5/14		
4/9			5/15		
4/10			5/16		
4/11			5/17		
4/12			5/18		
4/13			5/19		
4/14			5/20		
4/15			5/21		
4/16			5/22		
4/17			5/23		
4/18			5/24		
4/19			5/25		
4/20			5/26		
4/21			5/27		
4/22			5/28		
4/23			5/29		
4/24			5/30		
4/25			5/31		

注) 生育（作業）ステージは達観による調査。

表2 半月別孢子採集状況（調査地点：鳥取県園芸試験場）単位：個

月・旬	本年	平年 (H27～R6)	月・旬	本年	平年 (H27～R6)
3・5	2	2.9	4・6		14.6
3・6	0	5.8	5・1		10.4
4・1	1	4.9	5・2		10.6
4・2		2.9	5・3		27.3
4・3		8.0	5・4		55.6
4・4		10.5	5・5		77.0
4・5		11.8	5・6		65.1

注) 平年値は調査期間のうち、9年以上の値から算出。

＜情報の内容＞ 4月第1半月調査結果

- ・ Alternaria属菌の孢子飛散量は、平年に比べてやや少なかった。

＜参考＞

- ・ 発生量の記載
発生量の多少は中央値（median）の考え方を基に決定しており、発生の実態に即している。そのため、本年値と平年値の関係が発生量の記載と一致しない場合がある。
- ・ 孢子の採集
回転式孢子採集器を用いて行った。グリセリン膠を塗布したスライドガラスを10：30～12：00までモーターによって回転させ、スライドガラスに付着した孢子数を調査した。